

周南市立周陽中学校PTA

所在地:山口県周南市 / 全校生徒数:450名(H28. 5. 1現在)

家庭・学校・地域が連携した教育活動の実施!



生徒会マスコット
「やっちゃん」君

学校の特徴

団地造成に伴っての急激な人口増により昭和47年創立。地区内の3つの小学校から入学。平成24年よりコミュニティ・スクールとなる。生徒が主体となる教育活動を展開。校訓「自主・創造」

地域の特徴

市街地東部に位置し、市営・公団住宅、大規模病院、商業施設、さらには高校、高専、大学、スポーツ総合センター、野球場など文教施設が林立、緑地公園等も有し自然豊かな地域でもある。

活動内容

家庭・学校・地域が一体となった教育活動(コミュニティ・スクールの取組)を通して、地域とともにある学校、地域の核となる学校づくりをめざし、地域を巻き込んだPTA活動を推進している。



特徴的な活動

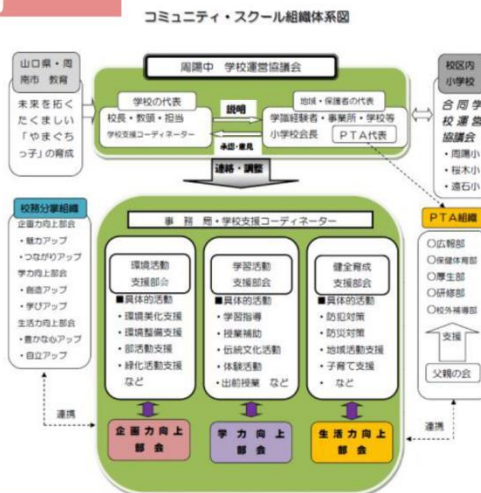
にこにこ挨拶



中学生が登校時に地域で親・地域の人とともに挨拶運動を行う。

教員・保護者・地域住民などのメンバーでユニットを組み授業研究を行う。協議には生徒も参加。

ユニット研修



○家庭・学校・地域が一体となった組織体制の強化(中央図)及び全PTAが参加する「一人一役運動」

○広報紙を通じての課題の共有とその解決に向けた取組

○コミュニティ・スクールとしてのツールを生かした教育活動(左写真)

○主な活動

親子防災学習
(引き渡し訓練)右図
各種研修会・親子
保健委員会・運動会
文化祭行事企画など



成果

○学校の課題が地域に開かれ、家庭・地域と連携して、協働態勢で解決に向かうなど開かれた学校づくりがすすんでいった。

○子どもと親・地域の大人が共に活動することで、絆が強まり、子どもが地域に貢献しようとする気持ちが高まった。

○子どもと親・地域の大人が交流する機会が増えたことで、地域風土が変化し、PTA活動が活性化した。

課題

●PTA全会員の一層の意識向上を図るため、活動内容の工夫・改善の在り方

つるぎ町立半田小学校PTA

所在地:徳島県美馬郡 / 全校児童数 107名

PTA運営委員会を主体とした学校教育活動の展開

学校の特徴

小規模校であるため、互いによく知り、休み時間などには学年を越えて優しく助け合う場面が見受けられる。勤労生産・奉仕的活動にも意欲的に取り組むことができている。また、ふるさと半田を大切にしようとする気持ちを強くもっている。

地域の特徴

地域の方々は、いつも温かく児童たちを見守ってくださり、学校運営協議会(コミュニティスクール)によって地域ぐるみで学校づくりが行われている。特に、高齢者は協力的である。

PTA組織

PTA運営委員(12名)の活動が充実している。学校教育活動のために献身的に動いてくれる。広報部会・生活支援部会・環境部会の3部会から構成されている。また、地区の保護者で構成される地域子育て部会もある。どの部会も主体性をもち活動している。

PTA運営委員会

広報部 広報紙「すからぶ通信」の作成

生活支援部 救急救命法講習会 給食試食会
リサイクルバザー(制服・体操服)

環境部 愛校作業 ごみゼロ活動
リサイクル活動(古紙・空き缶・空き瓶・回収)

調整

児童・保護者・地域・教職員

教職員 職員会(行事の検討) 関係機関との調整 保護者・地域への連絡等

学校運営協議会 コミュニティスクール

地域子育て部 プール安全指導等



リサイクルバザー



ふるさと探検ウォークラリー



リサイクル活動

主な取組

- ・PTA運営委員会 各委員とも、とても協力的である。主体的に各行事等の成功のために動いてくれる。本校教育活動の大きな原動力である。(年間7回委員会を開催している)
- ・広報紙「すからぶ通信」 多彩な内容構成である。家庭での過ごし方アンケート(学習・生活面)を集計したグラフ等を記載し、家庭教育の在り方についても啓発を行っている。委員たちは、数日間、深夜まで作成に取り組んでいる。
- ・「まちcomiメール」 会員のほぼ100%が加入し、紙媒体の通知だけでなく、迅速で細かな情報発信ができている。
- ・リサイクル活動 常時、資源ゴミ回収をしている。年に2回は、保護者、地域の協力を得て児童とともに 古紙、空き缶・空き瓶の回収を行い、収益は教育活動に充てている。
- ・ふるさと探検ウォークラリー 児童、保護者、教職員、地域住民が一体となり、校区の史跡や施設をめぐる。
- ・リサイクルバザー 家庭で必要なくなった制服や体操服を、持ち寄り、バザーを行い家庭の負担を軽減している。

成果

- ・PTA運営委員会は、和やかな雰囲気の中、率直かつ建設的な意見交換ができ、充実している。
- ・時間を惜しまず、学校教育に関わり、教職員の立場をも考え協働できる。児童や地域を大事にし、多くの学校行事等で、意義ある成果を多々得ることができた。
- ・全国小中学校PTA広報紙コンクール 奨励賞(H27年度)
- ・徳島県PTA広報紙コンクール 優秀賞(H27・H28年度)

課題

PTA運営委員とそれ以外の保護者の温度差が生じ、委員にお任せにならないよう、保護者全体が学校教育に参画し、児童の健やかな成長をサポートできる態勢づくりをめざしていきたい。

【徳島県教育委員会生涯学習課】

香川県立香川中央高等学校PTA

所在地:香川県高松市香川町 / 全校生徒数: 生徒911名

地域と連携し、ふれあいを深めるPTA活動

学校の特徴 平成28年度で創立30周年を迎え、創立以来、勉強と部活動の両面で、清新・はつらつとした校風を築いている。

地域の特徴 香川県の中央部を流れる香東川東岸沿いに位置し、周りには閑静な住宅街が広がる。

活動内容

特徴的な活動

ほほえみ

○「歩歩笑ウォーク」

香川県と徳島県の県境付近から本校までの約25kmを歩く1年生を対象とした行事を毎年11月に実施している。PTAは、生徒に対して声かけをしたり、交通の安全を確保したりして、全員無事学校までたどり着けるようサポートしている。



○「地域行事」

大野校区コミュニティ協議会による「大野ホテルまつり」、「おおの川風まつり」、「河川敷の清掃活動」などの地域行事に保護者や生徒もボランティアとして積極的に参加し、地域の人々とのふれあいを深めている。



○「文化祭PTAバザー」

秋季開催の文化祭時にPTAバザーを出店している。PTA会員・OB会員から不用品等を提供してもらい、販売している。PTA役員を中心に品物の受け入れ・陳列・販売まで行い、収益金の一部を部活動補助等で生徒に還元している。地域にも恒例行事として認知され、地域との関係強化につながっている。

成果

- 歩歩笑ウォークを通して、保護者や地域の方々から学校の状況がよく分かるとの好評を得ている。また、改善すべき点について意見をもらうことで、次回以降の実施に活かしている。
- 地域で活躍している保護者が地域と学校を繋ぐ役割を担い、生徒も保護者も地域行事に参画する機会をもち、地域の活性化に寄与している。
- 地域行事、学校行事に地域住民と生徒の双方が参加し、意識して活動に取り組むことで、連携・協力体制の強化につながっている。

◇その他の活動

○広報活動

研究大会や研修会等への参加者に、PTA広報紙等に寄稿していただき、多くの保護者が学校・家庭教育についての情報を共有できるようにしている。

○あいさつ運動

文化祭や歩歩笑ウォークなどの学校行事の際には、生徒と積極的にあいさつを交わし、つながりを広げている。



○学校教育の活性化

学校・PTA行事に多くの保護者が参加している。その際にアンケートをとり、結果を教育活動に活かしている。

○健康への意識向上

コミュニティセンターにおいて学校保健委員会での研究結果を展示したり、文化祭で骨密度測定を行うことで、学校や地域の方々の健康に対する意識の向上に貢献している。



課題

- PTA活動の目的に沿った、独自性のある企画・運営を行い、より主体的なPTA活動の推進に努める。

【香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課】

学校・家庭・地域が連携・協働し、荏原地区を愛する子どもを育てる

学校の特徴

開校130年目の歴史ある学校

地域の特徴

松山市郊外に位置し、自然豊かな環境の中、温かな気風で子どもたちを見守る地域

活動内容

特徴的な活動

【PTA活動活性化のための取組について】

- 運営の効率化や参加しやすい環境づくりへの取組
 - ・本部役員を14人体制とし、副会長13人が家庭教育部、社会教育部、学校教育部、広報部の支援及び相談役として活動している。また、副会長相互に役割を補い合えるようにしている。
 - ・一人一役を原則として、PTA役員の内容を明確にし、見通しを持って活動できるようにしている。
- 親子で参加する様々な活動の実施
 - ◇スポーツ交流会
ドッジボール、サッカー、ソフトボールを通して、保護者・子どもが相互に交流を深めることができるようにしている。
 - ◇ナイトハイク
日常体験できない夜間のハイキングを通して、子どもたちの体力と忍耐力を養う。交通安全のため、青パト、校区駐在所配備のパトカーが巡回している。
- 地域を挙げて青少年健全育成の展開
久谷地区青少年健全育成連絡協議会及び久谷駐在所連絡協議会を年3回開催し、子どもの問題行動の未然防止のために活動している。毎月2回午後9時から実施する久谷補導は、昭和59年から続いている。

【親子たこ作り教室・親子凧上げ大会】

＜開催時期と内容＞

- ・12月に、地域の凧作り名人の指導で凧作り教室を開催
- ・1月に、校区にある愛媛県生涯学習センターグラウンドで、凧上げ大会を開催
- 工夫している点
PTAと公民館の連携により、凧上げという伝統的な日本の遊びを子どもたちが体験できるようにしている。
凧上げができる場所が減少しているため、広いグラウンドを借りて活動を展開している。



○地域住民と連携した取組

◇伝統文化の継承◇

地域の名人さんを指導者として、しめ縄作り、昔の遊びなど、地域の伝統文化を継承することを目的とした体験活動を実施している。また、獅子舞などにも取り組んでいる。



◇資源回収、バザー◇

子どもたちの教育活動の充実を図るために、昭和51年より、地域を挙げて、PTA活動を支援する体制ができています。



○その他の活動

学校保健委員会、救命救急講習会、給食試食会、人権同和教育懇談会、読書ボランティア、下校時見守り活動、校区内危険箇所点検、おやじの会、放課後子ども教室、児童クラブ、いじめ防止対策推進委員会、など

◇成果と課題

- 保護者・地域の実態を踏まえ、時代の変化に合わせて様々なPTA活動を展開してきた。PTA活動が学校・家庭・地域をつなぐ中心的な役割を担いながら、子どもたちの健全育成に貢献するとともに自らの学びに生かすことができている。
- 時代の変化と共に保護者の価値観が多様化し、PTA活動よりも家族行事を優先する家庭が増加してきている。PTA活動を通して得られる保護者相互の交流や地域貢献などPTA活動のよさを伝えるための広報活動を充実させながら、学校・家庭・地域の連携を一層深め、PTA活動を進めていきたい。

四万十市立具同小学校PTA

所在地:高知県四万十市 / 全校児童数: 児童402名

学校を牽引する自立したPTAの活動

学校の特徴

【学校教育目標】

「学びを楽しみ やさしく かしこく たくましく 共に高め合う児童の育成」

地域の特徴




学校のすぐそばには、四万十川が流れており、校区は、田園風景を残す地域と住宅地・商業地域を含んでいます。

活動内容



○子どもを守り心を育てる活動 ○エコ活動やベルマーク活動の推進 ○親子のふれあいや会員同士の親睦をはかる多彩なイベント

特徴的な活動


子どもを守り心を育てる活動

- ◆「こころのぼすと」
・PTA執行部からの発案で児童の声を聞くため、校内3か所(保健室等)に設置 
- ◆「いじめ対策サポート会議」
・学校内外におけるいじめ問題の早期発見と早期解決を図るため年8回程度開催 
- ◆ネットトラブルから子どもを守る取組
・親子防犯教室(ケータイ・スマホ等含む)
・「幡多っ子ネット宣言」の活用
- ◆通学路の安全確保への働きかけ
- ◆あいさつ奨励運動・交通安全街頭指導・校外生活指導(巡回補導・パトロール)
- ◆本に親しみ、朗読の素晴らしさを感じる「読み聞かせ朝会」(保護者・地域ボランティアの協力) 
- ◆PTA文集の製本・発行

エコ活動やベルマーク活動

- ◆地球環境浄化とエコ活動の推進
・ゴミ袋販売
・アルミ缶や新聞紙などの廃品回収
- ◆「親子ふれあいクリーン缶ぺん」
・親子・家族単位でゴミを収集しながら学校へ 
- ◆地域清掃への協力
- ◆ベルマーク活動
・ベルマーク教育助成財団より体験発表の依頼があるほど活発に活動を行っています。 

多彩なイベント

- ◆親子映画会
- ◆親子ドッジビー大会
- ◆親子学習会(H27の内容)
・ストーリーテリングの世界
- ◆保護者学習会(H27の内容)
・本校の特別支援教育について
・本校の学力の状況と学力向上の取組について
- ◆夏季プール開放(全家庭監視当番制)
- ◆ハロウィン文化イベント
- ◆校内親睦球技大会 
- ◆市P連スポーツ大会
- ◆様々な研修会や会合へ積極的に参加

成果

- ・PTAが立ち上げた「いじめ対策サポート会議」は「こころのぼすと」とともに、いじめの早期発見・早期解決に役立っています。
- ・地域ボランティアの協力も得た「読み聞かせ朝会」は、児童の情操を育てています。
- ・エコ活動は、地域環境美化活動にも貢献しています。
- ・親子のふれあいを目的にしたイベントやPTA会員の親睦をかねたイベントは、好評で、交流が進み、PTA活動の活性化につながっています。

課題

- ・授業参観や愛校作業への保護者の参加は多いが、学級・学年懇談会やPTA総会への参加を増やすこと
- ・PTA活動に対して、積極的な保護者とそうでない保護者の二極化傾向の解消

苅田町立馬場小学校PTA

所在地: 福岡県京都郡苅田町 / 全校児童数 321名

子どもたちのために、大人が時間をつくり、協働することで楽しもう!

学校の特徴

年々児童数が増加傾向にあり、活気にあふれている。他地区からの転入家庭と地元の家庭とでは学校に対する意識の違いが見られたが、PTA活動を共にする中で交流が深まり、協働する意識が高まってきた。子どもたちは素直で明るく、規範意識が身に付き、落ち着いて学習に取り組んでいる。また、いろいろなことにチャレンジすることを喜び、教育活動の内容も広がってきている。

地域の特徴

学校周辺には、文化財や公共施設等が集まっており、子どもたちにとっては多くのことを体験したり学んだりする上でとても恵まれた地域である。また、学校は地域が支える、学校のためには地域みんなで協力していくという体制が整っており、教育活動に熱心に協力してくれている。

活動内容

- 学校と家庭が共通の目標をもち、同じ方向で子育てができるようにルールを明確にして教育活動を行っている。
- 「みんなで協働・みんなで楽しみ・感動を共有する」を合い言葉に4つの委員会と読み聞かせサークルが主体的な活動を行っている。
- 「みんなで考え・子どもを支える」地域サポーターと連携した地域に根ざした取組を行っている。

特徴的な活動

みんなで考え・協働する取組

1 学校と家庭が共通の目標をもって子どもを育てる取組

学校と保護者が一緒になって学校生活や日常生活のルールを考え作成した、みんなで守る馬場小学校のルールガイドブック「夢ナビ」



2 安全確保と環境美化の推進

○地区環境委員を中心に子どもと一緒に登校して通学路の安全点検と子ども110番の家の確認

○人と人をつなぎ交流を深めるあいさつ運動

○年2回の環境美化活動

○子ども見

守り隊の方々や子どもの登下校について年間4回の協議会

3 家庭教育学級の開催

年間7回、子育てや学校生活や進路のことなどの研修会を実施



みんなで楽しみ・感動を共有する取組

1 年1回の馬場っ子フェスタ

毎年子どもたちが楽しみにしているお祭り。子どもたちが楽しめる室内・室外のゲームの出店をはじめ、OBによる手品等地域の方々も招待してみんなで楽しんでいる。バザーの収益金でオペラや太鼓の演奏会等を開催し、感動をした!



2 心に種まき読み聞かせサークル

各学年年間6回の読み聞かせ会と毎週読書タイムの読み聞かせを実施し、心に温かい花がいっぱい開花!



3 各学年の親子ふれ合い集会

学年委員を中心として、親子ふれ合い集会を計画し、親子で物づくりをしながらか絆を深め楽しい実感を!



成果

- ・学校と家庭が共通の目標に向かうことで、子どもたちが安心して学校生活を過ごすことができています。
- ・PTA活動が活性化することで、保護者同士のつながりができ、学校行事等への協力体制も整ってきた。

○地域サポーターと連携した取組

- ◇苅田町観光ボランティアの方々と連携して、苅田町の名所・旧跡・文化等を探検し、町の良さを広めている。
- ◇地域の老人施設の方々と一緒に校庭の花壇に花の苗を植えたり、委員会の子どもが地域の公園のごみ拾いをしたりして地域に貢献する取組を実施している。
- ◇地域の神社の奉納子ども相撲大会に毎年参加し、個人戦団体戦で健闘している。
- ◇放課後子どもたちの居場所として、地域の方が子どもお世話をしている。宿題をしたり友だちと遊んだりして人間性を培っている。



課題

- ・地域やPTA活動の大切さを今後も各家庭に伝え続けることで、さらに強い絆にしたい。
- ・活動がマンネリ化しないように、活動に工夫改善を加え、継続することが大切である。

【福岡県教育庁教育企画部社会教育課】

小中一貫校南波多校 伊万里市立南波多中学校育友会

所在地:佐賀県伊万里市 / 全校生徒数: 80名 会員数703名(地域全世帯が参加)

地域が一体となって、“南波多っ子”を育みます!

学校の特徴

平成26年度から隣接型小中一貫校。運動会や教育フェスタ等の小中合同行事や相互の乗り入れ授業などとおして、児童生徒の義務教育9年間の健やかな育ちを支援する実践の研究に取り組んでいます。平成30年度、校舎一体型の義務教育学校としてスタートする予定です。

地域の特徴

『南波多の子は、地域の力で育てる』というスローガンのもと、保護者はもちろんのこと地域全体が学校教育にも高い関心をもっています。校外でのサポートにとどまらず、学校における学習や体験活動にも多くの地域の方に協力・支援をいただいています。

活動内容

特徴的な活動

本校育友会の取組について

○参加しやすい環境づくりへの取組

学校便りは保護者だけでなく町内全世帯(約630戸)に配布し、公共施設にも掲示しています。また、より身近に感じてもらえるよう学校HPとリンクさせた「南波多中ブログ」を昨年度から開設しています。

○より良い学校づくりを推進するための体制

育友会長等が町づくりに関係した諸会議に参加・協力するとともに、町の諸会議の委員が学校評議員として学校の取組に助言や提言をいただくなど、町内各団体と育友会・学校が有機的につながり、連携を深めています。

○学校支援活動

各部活動保護者会によるグラウンド整備や補修や、近隣の方々による庭木の剪定など学校環境の整備に取り組んでいます。

◆一貫校教育フェスタ◆

【開催時期/11月】

一貫校導入年度から、毎年実施しています。

保護者・地域の方が乗り入れ授業等を参観後、児童生徒の合唱等の発表会「ふれあいコンサート」にも参加していただいています。

フィナーレは児童生徒全員による合唱「ふるさと」⇒



○工夫している点

保護者や地域関係者と学校職員で組織した「南波多の教育を考える会」は、これからの学校づくりを地域全体で考える重要な場であり、小中一貫校導入、そして義務教育学校設立に向けての、地域の大きな原動力となっています。

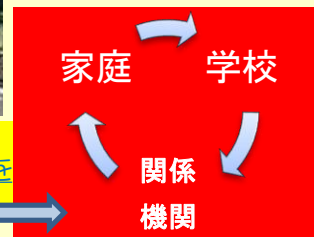
○地域全体で見守り・育む日常活動

◇登下校を毎日見守る「子ども守り隊」◇

交通指導員・派出所とともに、町内各所で子どもの安全・安心のための活動。



○地域(育友会)が学校・家庭・関係機関を支えています。



地域の方と「ふるさと探訪」

○その他の活動

小中合同除草作業(町区長会も協力)、読み聞かせ活動(隔週開催)、受験生激励会、川柳教室、ふるさと探訪、親子ふれあい除草作業、人権・同和教育研修会、親子ふれあい部活動など

成果

- ・地域の方々のサポートが、子どもに安心感を与え、健やかな成長につながっています。
- ・地域の支援によって学校づくりが活性化しています。
- ・育友会活動の充実により、学校運営だけでなく、小中の連携や協力体制を更に強固なものにすることができています。

課題

- ・少子高齢化に伴う、児童生徒数の減少と地域支援人材の高齢化は、長期的な見直しをもった対策が必要です。
- ・2年後に迫った校舎一体型の義務教育学校設立に向けて、今後も、学校、行政、育友会が連携して、新しい学校づくりに取り組んでいく必要があります。

南島原市立大野木場小学校PTA

所在地:長崎県南島原市 / 全校児童数: 108名

学校・地域・PTAが共に連携し、伝え続ける防災教育!

学校の特徴

- ・H3年に雲仙普賢岳の大火砕流で旧校舎が焼失し、H12年に新校舎が建設されるまで仮設校舎で学校教育を行う。被災した学校ということ、災害教訓を伝え続ける「メモリアルデー集会」を毎年開催し、学校、地域の方、PTAが協力し合い、防災教育に取り組み後世へ伝承する。
- ・H16年には学校敷地に隣接して、災害の歴史や資料を展示する「かどわき歴史資料館(特定非営利活動法人・大野木場教育振興会)」が開館。県外からの見学者も多く、また、子ども達の日常生活の学習にも活用している。
- ・校舎が扇型の造りで、全教室からグラウンドまたは中庭に出ることができ、避難の際、安全確認がスムーズにできるようになっている。体育館は避難場所を想定し、土砂などが入り込まないよう、避難生活で眩しくないよう下の窓がない設計となっている。

地域の特徴

- ・噴火災害当時、共に協力して災害を乗り越えてきた住民を見て育った世代が、今は親となり、今日のPTA会員世代へと繋がっている。地域の方は学校行事に協力していただき「災害に負けず前を向いて立ち上がり努力してきたこと」「周りの多くの方々から温かい支援があったこと」を、機会あるごとに、子どもたちへ伝えてくださっている。
- ・校区内には団地が2地区あり、地域住民の減少は目立たず、児童数も噴火前とほぼ変わらない。

活動内容

特徴的な活動

安全教育、他機関との連携の取組について

○校区内の「危険箇所点検」や「安全マップ」の作成等、安全に関わる教育環境の改善

- ・登下校時の安全を考え、歩行上危険箇所の調査をする。危険箇所は写真に撮ってマップを作成し、視覚的にも周知を図る。

○「PTAネットワーク」とおしたPTA相互の連携強化

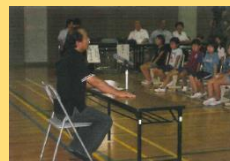
- ・町の小学校3校、中学校1校で独自のPTAネットワークを作る。定期的な会合を開き、研修会や講演会を実施する。

メモリアルデー集会

【目的】雲仙普賢岳噴火に伴う災害の記憶を風化させないよう、学校、地域、PTAで協力して開催する。自然災害の恐ろしさや、自然災害から命を守ることの大切さを知る。

【開催】9月15日(旧大野木場小学校が大火砕流で焼失した日)

【内容】子ども達が災害について学んだことを地域やPTA会員の前で発表する。地域の方を講師に招き、当時の体験を伝承してもらい、地域と共に防災教育を展開する。



○地域住民と連携した取組

「餅つき大会」老人会や地域の方、PTAと実施。「水原神社祭り」の神事等に参加し、ふれあいゲーム等をおし地域の方との交流を深める。

○その他の活動

毎週月曜の朝にPTA図書ボランティアによる読み聞かせ。毎週火曜の朝にPTAが交通量の多い交差点に立ち、交通指導を行いながら、あいさつの声掛け活動。親子奉仕清掃、メディア研修、いのちの授業等。

成果

- ・焼失していた水原神社が平成21年に再建され、「水原神社祭り」も再開する。毎年、その祭りに子ども、婦人会、老人会、PTAも参加し、神社の前でお年寄りの方から昔話を聞いたり、ふれあい活動をおすことで世代間交流や地域交流が深まり、学校、地域、PTAの結束力が年々高まっている。
- ・「親子奉仕清掃」への取組をおし、親子のふれあいの中、母校を大切にしたい気持ちを伝えたり、危険箇所や避難場所の確認の機会としている。
- ・PTAネットワークで相互の情報交換や交流ができていますので、中学校PTAでスムーズな活動へと繋がっている。

今後に向けて

噴火災害から25年経ち、次第に当時の記憶が薄れていく中、防災教育の必要性や、後世へ受け継いでいくことの重要性を発信し続けることが大切である。同時に、PTAの役割や意義を一人ひとりの会員へ届け、学級単位からPTAを盛り上げていくことの必要性を実感している。

合志市立合志南小学校 P T A

人と世代をつなぐ P T A 活動～地域学校協働本部の推進～

学校の特徴

昭和53年に新設され平成29年度創立40周年を迎える。人口は急増中で10教室の新校舎が増設された。平成30年度には児童数1000人を超える見込みである。平成26～28年度文部科学省の教育課程特例校の指定を受け「英語科」を全学年で実施している。

地域の特徴

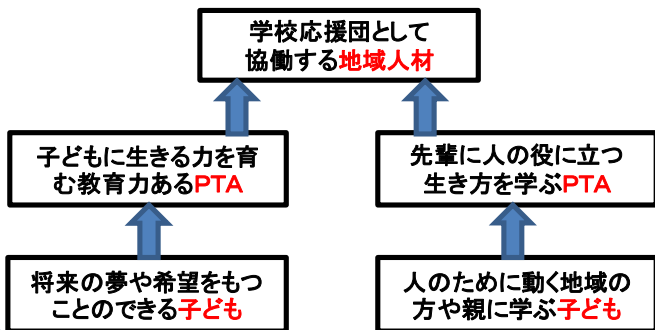
農業・酪農・養鶏が盛んな農業地域と昭和50年代建設の住宅地からなる地域であるが、近くに商業地帯ができて宅地造成が急速に進み、人口が急増し都市化が進んでいる。地域や保護者の教育に対する関心は高く、「南っ子支援ボランティアの会」の取組を軸に学校への協力体制はさらに広がってきている。

活動内容

毎月「役員会(執行部・校長・教頭・主幹教諭)」と委員長も含めた「運営委員会」で企画立案し、活動の主体は、6つの「専門委員会」が自主的にリードしている。

主体的な P T A 組織

- 毎月「役員会(執行部・校長・教頭・主幹教諭)」と委員長も含めた「運営委員会」で企画立案。
- 活動の主体は、「専門委員会」が自主的にリード。
- 各学級より選出する4つの【学級PTA】
学級レクリエーションで交流を深める「**学年学級委員会**」
教育講演会で研修を推進する「**文化委員会**」
運動会や試食会で体力面を支援する「**保体委員会**」
PTA新聞で会員の連携を深める「**広報委員会**」
- 校区7地区P数により選出する2つの【地区PTA】
校区のパトロールで安全を確保する「**安全委員会**」
地域の子ども会やプール開放を進める「**地区委員会**」



南っ子支援ボランティアの会

地域の各団体(校区内の8区長、民生委員、更生保護女性会、学校評議員、体育指導委員、PTA会長・副会長、コーディネーター、市教育委員会、学校)の中に、PTA会員も「南小フェスティバル」や「読み聞かせ」等で積極的に参加。**人と世代をつなぐPTA活動は主体的で創造的な生涯学習の場。**

- ①学習支援の活動として、「読み聞かせ」に66日、のべ792名。
- ②環境整備の活動として、「花植え」に20日、のべ60名。
- ③健康安全の活動として、「1年生の健診時の補助」として13名、「登下校指導」に209日、のべ1881名。
- ④学校行事に、4日、のべ210名。



南小フェスティバル

保護者や地域の話の聞いたり体験学習をしたりすることで、**児童が夢や希望をもち、社会の一員として主体的・創造的に生きていくための基盤づくりに寄与。**

- スタッフ120名34ブース(国際交流、物づくり体験、エコ体験、伝承遊び、軽スポーツ、消防署や警察署の仕事、保護者の仕事、科学実験等)を設け、秋の土曜授業で実施。



成果と課題

PTA活動が活発で主体的である。しかし、都市化が進み人間関係の希薄化が懸念される中、本校では、手本となる地域の先輩方と若い保護者世代がつながり、また保護者同士もつながる取組が進みつつある。今後さらに、PTA活動を通して、人と人とがつながり、ゆくゆくは南っ子支援ボランティアとしてまとめ、学校応援団として協働する地域人材の育成が進み、地域の教育力向上につなげていくことが課題である。

所在地：熊本県合志市豊岡2224番地29
児童数：920名

【熊本県教育庁教育総務局社会教育課】

国東市立富来小学校PTA

所在地:大分県国東市 / 全校生徒数: 児童98名

地域と一緒に育てちいこうえ！富来っ子

学校の特徴

児童数減少に伴い、平成24年に来浦小学校・大恩小学校・富来小学校の3校が統合し、新富来小学校として開校した。平成26年には「目標協働達成モデル校」の指定を受け、学校・家庭・地域が教育目標を共有し、達成に向けての活動に取り組んだ。「にこにこ、ぐんぐん、何かでキラリ、ひとみ輝く富来っ子」を合言葉に知・徳・体のバランスのとれた教育をめざしている。

地域の特徴

基幹産業は農業と漁業であるが、官公庁やその他の職場で働く共働き家庭が増加している。そんな中でも、学校に対する関心は高く、地域や保護者は協力や支援を惜しまない。また、地域起こしグループの活動も活発である。

活動内容

「にこにこ、ぐんぐん、何かでキラリ、ひとみ輝く富来っ子」を合言葉にした学校経営方針とPTA活動方針の連動した取組。

特徴的な活動

目標協働達成チーム会議

【目的】

学校・家庭・地域が学校の教育目標を共有し、その達成に向けてそれぞれの立場から取組を進め、子どものよりよい育ちを目指す。

【具体的な取組】

・学校の教育目標実現に向け、「あいさつプラス声かけ」、交通安全運動週間や安全指導日の街頭指導、ラジオ体操参加、登下校の見守り、奉仕活動やお祭り等への参加、総合的な学習の時間等への地域人材の活用等を図っている。

・公民館と連携し、高齢者大学との交流を行っている。

成果

(平成26・27年度大分県PTA連合会指定研究発表会研究紀要から)
○学校は、子どもにとっても保護者にとっても「学びの場」であると感じ取れた。
○PTA活動の目標を共有し、保護者主体の活動として捉えたことから、「つながっていける」「やっていける」という気持ちが醸成できた。
○PTA活動を専門部が、子どもの成長と保護者の意識の高まりのためにどのような取組が必要なのか検討し、取組の改善が図れた。

図書館開放読むデー

研修部の取組として、月1回夕方の5時30分から7時まで図書館を開放し、親子での読書や本の貸し出し、地域の方の読み聞かせ等を実施。親子で読んだ本の感想を話したり、お互いに紹介しあったりする中で、親子や参加者相互の絆・ふれあいを深めている。

○工夫している点

- ・各家庭ごとに年間1回以上参加することを家庭の目標として掲げる。
- ・継続して参加してもらうため、スタンプラリーを実施する。



○積極的な広報活動の推進

広報部が、PTA活動や学校の詳細な活動内容を記載したPTA新聞「陽だまり」を発行し、学校やPTAの活動を広く周知している。

その他、校内掲示板の設置や公民館・病院・グループホーム等への掲示により、地域と学校をつないでいる。

○安心・安全な教育環境の整備

生活施設部が、児童の安心・安全な登下校のため、交通指導やあいさつ運動の他、交通安全看板の設置や安全マップの作成などにも積極的に取り組んでいる。

○家庭での運動の取組

保健体育部が、健康づくりの推進を掲げ、家庭での運動習慣の定着に向け、国東市健康チャレンジへの参加や運動会練習期間中のストレッチに親子で取り組んでいる。



課題

(平成26・27年度大分県PTA連合会指定研究発表会研究紀要から)
●多くの保護者が活動に積極的に関わることができるようになったが、まだ参加に消極的な方もいる。これからもPTA活動の意義を啓発していく必要がある。また、父親の参加が少ないので今後参加をどう増やしていくか。

延岡市立北方学園小中学校PTA

所在地: 宮崎県延岡市 / 全校児童生徒数: 児童158名、生徒105名 合計263名

学校・家庭・地域・行政・NPO法人等が協働(コラボ)した学習活動支援の実施!

学校の特徴

平成26年4月より、4つの小学校と1つの中学校が1つとなり小中一貫校としてスタートした。北方地区唯一の学校で、児童生徒の3分の1がスクールバスで通学しており、一番遠い地区は約1時間かかっている。

地域の特徴

土地区分に干支(十二支)を使ってる全国唯一の町。鹿川溪谷や比叡山など自然豊かな景勝地が多く、農業、林業等が盛んである。地域住民は教育活動にとっても協力的で、PTA活動への協力や授業にゲストティーチャーとして支援していただいている。

活動内容

特徴的な活動



学校支援ボランティアとコラボ

○登下校の見守り活動や、朝の読み聞かせ、学校図書室の整備、高校入試前の面接指導、小学校5・6年算数の授業支援等、学校支援地域本部とPTAが連携して活動している。



地域素材を生かした授業にコラボ

○地域の河川にて、図工の時間に作成したダンボールカヌーに乗っての川下り体験やEポート体験、水生生物調査等の授業にPTAとして協力している。



行政やNPO法人とコラボ

○地域の観光資源開発を目的に、フットパスコースづくりを行った。また、スポーツライミング(ボルダリング)の普及を兼ねて、体育館に3.6mの高さのボルダリング壁を設置し授業等で活用した。



干支の町フェスティバル

○OPTAと学校、高齢者クラブ、行政、商工会がコラボし、地域イベントに中学生が企画・運営に参加する。ステージ担当や出店店舗の販売補助、車いすの来場者介助、会場清掃、広報活動等を実施した。また、災害時炊き出し用の220kgの大鍋を使ってカレーの炊き出しも行った。



北方サミット

○中学生と保護者、行政、地域住民が、地域の未来についてディスカッションする活動を実施した。参加者からは北方の「ひと・もの・空間」を活かす様々なアイデアが出された。



防災教室

○夏休みの登校日に、閉校となった小学校を活用し、PTAと地域住民、学校、行政がコラボし、避難所でのルール作りやハザードマップを使った現地見学等を行った。



成果

- ・PTAが学校支援ボランティアとコラボして学習活動支援を行うことで、学校との円滑な連携を生むことができた。また、保護者が学校に行きたくなくなる雰囲気づくりに貢献できた。
- ・干支の町フェスティバルやフットパスコースづくり等、行政やNPO法人等の関係機関とコラボして地域活動に参画することで、地域の活性化(まちづくり)につながった。
- ・水生生物調査や川下り体験等、授業と地域素材をコラボすることで、学校と家庭・地域が一体となった活動を展開でき、より一層地域との絆が強まってきた。

課題

- 神楽等の伝統芸能等を地域と一体となって次世代へ引き継いでいくような活動をPTA行事として企画していく。
- 学校が地域コミュニティの中心となり、地域の活性化にも貢献できるように、関係機関とコラボしやすいPTA体制を構築する。

鹿児島市立田上小学校PTA

所在地:鹿児島県鹿児島市 / 全校児童数:614名

【こんな学校です】

- ・ 創立140周年の歴史と伝統ある学校
- ・ 鹿児島大学教育学部代用附属校として、教育実習生の受け入れや先進的な教育研究を推進
- ・ 伝統に支えられた、強固な地盤のPTA

【学校教育充実のために】

- 「学校支援ボランティア」として、保護者約100名が登録
 - 本の読み聞かせなど、昨年度は延べ37名の保護者が支援に当たる
- 日曜参観における教育講演会の開催



【読み聞かせ活動】

【地域の教育環境充実のために】

- 校区安心安全ネットワークと連携した、通学路と危険箇所の定期的な調査の実施と調査結果への対応
- スクールゾーン委員会を年2回実施し、子供の集団登校や下校の様子についての意見交換を実施



【地域と連携した集団下校】

【成果】

- 年々、保護者の学校に対する関心が高まっており、授業参観や学級PTAの参加率が80%を超えるようになってきている。
- 校区のほとんどの各種団体役員にPTA役員が任命されるなど、地域とPTAの結び付きが強くなってきている。
- 活動終了時には必ず反省（アンケート）を実施し、次年度の活動に生かせるようになってきている。

【PTAテーマ】

子供が伸びを実感!!
子供の成長を支援する
家庭・学校の環境づくり

田上小PTAキャラクター



のびるちゃん あさひ子マン

特徴的な活動

【各種団体・他校との協力】

- 校区公民館運営審議会や民生委員との会合において、PTA活動の状況報告を実施
- 近隣の小・中五校PTAを実施し、共通実践事項として「ノーメディアデー」の取組を実施

【こんな地域です】

- ・ 地域住民の学校への関心が高く、様々な団体と学校・PTAが連携した取組を展開
- ・ 田上校区公民館運営審議会が中心となり、地域全体で学校を支援

【家庭教育充実のために】

- 毎月23日を「親子読書&ノーメディアデー」とし、親子読書に取り組み、年2回の表彰なども実施
- 父親会をPTA組織の中に位置付けており、全家庭の父親が会員となって運営



【父親会主催のイベント(年4回)】

【児童の学校外活動充実のために】

- 毎年、PTA主催の「親子ふれあい給食」を開催し、食育講話や健康づくり講話などを実施
- 「我が家の教育の日」や「一家庭一家訓」活動を積極的に推進



【親子ふれあい給食】

【課題】

- 保護者によって活動に温度差があり、多くの保護者がPTA活動への関心を高めていくことができるような工夫をしていく。
- PTA活動が保護者の過度な負担になりすぎないように、会議や行事の見直し・精選をするなど、PTA執行部や各専門委員会が互いに調整をしていく工夫が必要である。

石垣市立川平小中学校PTA

所在地: 沖縄県石垣市川平969番地

／ 全校生徒数: 児童58名、生徒16名

サンゴ礁の自然と村に育まれる児童生徒

学校の特徴

- 幼小中併置校のため、運動会や学習発表会は合同で実施している。
- 幼稚園から中学校までの成長過程が見え、継続指導が可能となっている。
- 伝統ある地域行事が多く、学校も積極的に参加している。地域、学校に対し協力的な保護者が多い。
- 他府県出身の生徒も多く、言葉遣いや学習面で良い影響を受け合っている。

地域の特徴

- 川平公園周辺は、日本百景の一つに指定され、湾内では黒真珠養殖が行われており、県水産試験場による養殖事業も行われている。
- 校区は川平、大嵩、仲筋、吉原の4集落から成っており、特に川平地区は古くからの集落で、豊年祭、結願祭を始め多くの伝統的な行事が残されている。
- 地区の主な産業は農業で、サトウキビ、米などを中心に生産しているが、畜産も行われている。また、近年観光客の増加にともない民宿やリゾートホテル、民芸品店、食堂、レジャー案内店などが建ち、産業の多様化がみられようになってきた。



PTA活動の内容

特徴的な活動

- 稲作体験
 - ・米作りにおける苦労や工夫、農家の方の思いを感じさせることをねらいに、小学校全学年を対象に毎年実施している。実習指導は地域で農業を営んでいる運営委員の協力を得て行っている。
- 学校行事（運動会）
 - ・教育隣組各班を中心に地域の方々が参加する地域種目（縄ない競争、綱引き、職域リレー）が組み込まれており、学校と地域が一体となった行事となっている。
- スマムニイ大会
 - ・方言を継承し、郷土愛の心情を育てることをねらいとして実施されており、その企画運営は教育隣組各班とPTA文化部が担当している。
- 村祭り（旗頭・棒・太鼓・笛）
 - ・川平の伝統芸能も、保護者を中心とした地域の方々の指導のもと、小中学生が毎年演じている。

成果と課題

- 保護者指導による創作舞踊「川平満慶太鼓」の全国中分祭出場が決定した。
- 学校、保護者、地域の連携により、多くの行事を円滑にこなすことができた。
- 行事を通じ、学校、保護者、地域の相互理解が深まった。
- PTA会員をどう育成するか。
- 会員数が少ない中、今後どのように活動を活性化していくか。

